

中国・韓国
とのゆかり
探訪

第2回

1300年前に
海を渡ってきた
文化は奈良から
日本各地へと
広まった



唐招提寺——日本に仏教の戒律を伝えた
鑑真和尚ゆかりの寺

唐招提寺は、日本の求めに応じ、唐から苦難の末に来日した鑑真和尚によって建立された戒律の道場で、金堂は当時の技術の粋を集めて建立されました。東西28m、奥行き15mの大きな建築で、現存する数少ない8世紀当時の建造物です。昨年11月に、10年に及ぶ解体修理「平成の大修理」が終わり、落慶法要が行われました。

内部に安置される盧舎那仏、千手観音などの仏像も創建当時のものです。金堂と内部の仏像の制作は鑑真とその弟子が指示したと考えられ、金堂の内部は唐文化の面影を強く残しています。御影堂には鑑真和尚坐像が安置されています。この像は、和上の在世中に制作されたもので、和上の風貌を写实的にあらわす8世紀の肖像彫刻の名作です。鑑真和尚坐像は和上の故郷である中国揚州にも里帰りしたことがあり、中国の人々の熱烈な歓迎を受けました。

御廟前には、中国揚州の大明寺から送られた香炉や中国仏教協会の趙樸初会長(当時)が詠んだ詩があるほか、揚州から贈られた瓊花が植えられ、初夏にその可憐な花を咲かせます。

昭和53年には鄧小平国家副主席(当時)、平成20年5月には胡锦涛国家主席が訪問されたほか、これまでも多くの中国の要人が日中友好の歴史を振り返るうとして訪れています。



【唐招提寺】

近鉄西ノ京駅から北に約700m

平成の大修理を終えた
唐招提寺金堂



☎ 県国際観光課 ☎ 0742・27・8553 FAX 0742・23・0620

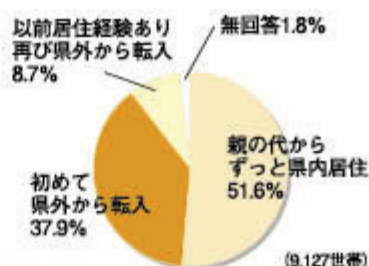
統計から
知る奈良

新連載

県民のくらし向きは？
家族やご近所とのつながりは？
「奈良県民のくらしに
関する調査」の結果から

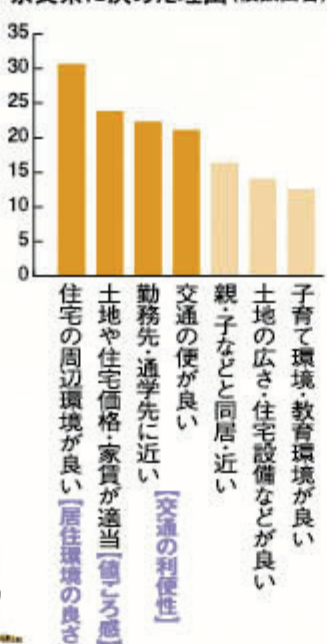
※県民の生活の実態を明らかにするため、
昨年10月に県内約1万世帯を対象に行った調査

奈良県では、県外から
引っ越してきた方が約半数も！
世帯主が県外からの転入者である
割合は、46.6%です。そのうちの
52.9%が、25年以上前に転入されて
います。



奈良県転入の決め手は？

転入した世帯主が、転居地を奈良県に決めた理由(複数回答)



↓ 周辺環境の良さは、奈良の魅力。
今後も、落ち着いた雰囲気や
美しい景観をみんな
保存していきたいしょう。



☎ 県統計課 ☎ 0742・27・8441 FAX 0742・27・0615